

平成20年度第3回 下山地域会議 会議録

【日時】平成20年6月24日(火) 19:00～21:10

【場所】下山支所2階大会議室

【出席者】委員 17名出席

事務局 加藤支所長 原田 西山 川合 加藤

【次第】1 開会

2 あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 協議事項

・都市内分権の見える化について

6 報告事項

(1) 地域情報基盤整備事業について

(2) まちづくり協議会について

(3) その他

7 今後の予定

8 閉会

【内容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員指名

河合委員を指名

3 前回会議録の承認

全委員承認

4 協議事項

都市内分権の見える化について

(ファシリテーター) 前回出していたいただいた意見をもとに、今日は「下山地域の将来像と今後の課題」を決めて行きます。

(事務局) 先回3つのグループで下山地域の課題を検討していただき、その資料をもとに、下山地域のまちづくりビジョン(案)をまとめさせていただきました。事務局案として、将来像は「人が交わり豊かな自然と共生するまち・しもやま」ということで、市民・地域・都市とそれぞれのキーワードごとに目指すべき姿の要素と重点テーマをまとめさせていただきました。

(ファシリテーター) 提案いただきました「下山地域のまちづくりビジョン」について委員の皆さんから不足している点やこうしたらいいじゃないかという意見を出していただきたいと思います。

(委員)「若者」と「高齢者」のキーワードの間に、母親や父親の視点で安心して子育てができるとか、子育てが楽しいといったものを入れたらと思います。また、「住みやすさ」と「生活の基盤」

は内容的にひとまとめにした方がいいと思います。

- (委員) 高齢者の項目で元気なお年寄りで全地域に地域サロンができると良いと思います。
- (委員) 地域にあった施策で、下山村時代に整備した同報無線が防災無線にかわります。防災無線は、防災に関することしか放送できないので、住民のニーズに逆行しているのではないかと思います。
- (委員) 子どもと若者の間に学生といわれる高校生や大学生を入れたらいいと思います。
- (委員) 高齢者は農産物の販売など受身の姿勢のため、地区中で待つだけでなく、高齢者が地区外へ行って販売してくるような方向性も考えるべきであると思います。
- (委員) 結びつきの部分で学校が閉鎖的になるのではなく、地域の人を受け入れるようになり、学校と地域との交流できるものが必要であると思います。
- (ファシリテーター) 将来像を描き、具体的に将来像に近づくために何が課題か、課題を解決するためにどういう取り組みをしたらいいかということで、課題を出しそれを解決するためにどうしたらいいかを合わせて検討していただきます。

「将来像」「課題」「解決のための取り組み」をグループワーク

3 グループ発表

- Aグループ 同報無線の再生 住民間の情報不足 個人情報を守ろう
- Bグループ 親が安心して子育てをする 小回りのきく交通網 農林業の再生
下山の良さを活かした交流事業
- Cグループ 病院に世話にならない元気なお年寄り 高齢者の収入に結びつく施策
しもやま地域を愛してくれる学生をつくること

- (ファシリテーター) シールを3枚ずつ配布しますので、都市内分権の見える化の視点から重要と思う項目に投票をお願いします。
- (事務局) 21年度から事業をスタートするというので、今年度9月までに予算措置をするための予算計画書を作成することになります。それを踏まえて投票をお願いします。
- (ファシリテーター) 次回、今回のデータを事務局で整理し、グループで議論した要素を盛り込んだものを作ってください。その後、区長会などに情報提供を行い方針を決めていくことになると思います。

5 報告事項

(1) 地域情報基盤整備事業について

CATVのパフレットを広報と一緒に全戸に配布をし、8月末から10月初旬まで集落単位で説明会を開催します。そして来年の6月から9月頃に正式な加入の手続きを行いたいと考えています。そして平成22年度からケーブルテレビを共用していきたいと考えています。ケーブルテレビは、見るだけでなく、いろんな情報を的確迅速に、みなさんのお宅に配るということで、市も全面的にバックアップをしていきますので、加入をお願いしたいと思います。

(2) まちづくり協議会について

下山地域が将来にわたって、今の暮らしやすい環境を維持しながら、活性化できるよう地域住

民をあげて取り組む必要があり、地域住民主体のプロジェクトについて検討してきました。下山まちづくり構想の位置づけは、地域住民と行政が連携をとりながら、具体的な計画・事業に取り組んでいくこととなります。

香恋の里しもやま観光交流基本計画は、18年度に「豊田市観光交流計画」を策定し、それを受け下山の地域版としてこの計画を策定しました。基本方針を「三河湖百景の創出と心ぬくとまる香恋の里しもやまへ」という下山らしさを残すものとなっています。整備イメージも体験プログラムの構築、花いっぱい運動の実施など様々なものがあり、今年度から取り組んでいきます。

(3) その他

地域会議の取り組みとして都市内分権の見える化について、6月の区長会において地域会議で検討している内容について現状報告をしました。

食育推進計画のモデル地区として下山地区と梅坪台地区の2地区が選定されました。下山地区では、今後3カ年食育のモデル地区として食育事業を展開していきます。

6 今後の予定

- ・ わくわく事業2次募集審査会 7月12日(土)午前9時より 交流館2階多目的ルーム
- ・ 第4回下山地域会議 7月25日(金)午後7時より 交流館1階第11会議研修室